

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言		
			S～C		S～C			
平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営  各競技団体と日程調整・PRや情報共有等連携を行い、スポーツの振興を図っている。 また、近年ではアパレルアウトレツセルやブランド品の展示販売会や大学の入試会場、株主総会など、文化的な催しの増加を図るなど目的に沿った運営を行っている。  (評価点：3点)	A	「スポーツとにぎわいづくりの殿堂」の趣旨に基づき、イベント誘致、利用増に向けた取組みを実施。 <効果>文化的行事として利用する団体の新規獲得（アウトレツ等幅広い使用用途）  (評価点：3点)	A			
		②提案した管理運営方針に沿った管理  個人情報の管理では鍵付保管庫、パスワード設置等徹底して情報管理をしている。また、PC本体をワイヤーで机等に固定し鍵をかけ、盗難防止処置を行っている。 個人情報保護及び情報公開研修実施（H29.4）等の各種研修を提案どおり実施。  (評価点：4点)		個人情報の管理、防災・安全対策など各種社内研修を実施し、提案どおり取組んでいる。 <取組>個人情報研修、情報公開研修、防災訓練の実施、人権啓発研修を実施しており、報漏洩や火災事件の発生なし。  (評価点：3点)				
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み  知的障がい者の雇用や天神祭り清掃。ボランティアへの参加等の社会貢献活動を行なっている。 又、11月には今宮中学校の依頼により職場体験（2～3名）の受入し、体験実施。 C-STEPへはH18年から加入している 支援学校からは1名の雇用を継続している。 大阪府暴力団排除条例等に基づき、利用団体(者)の確認を行っている。（大阪府警照会件数：0件）  (評価点：3点)		・社会貢献活動に取り組んでいる <取組>障がい者支援学校から実習生受入、知的障がい者の清掃員の雇用6名、毎年清掃ボランティア活動実施 ・適用法令一覧表及び年間実施計画を作成により情報共有し適正に実施している。  (評価点：3点)				
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況  平等かつ、公平なサービスを提供するため、関係法令の遵守等グループ全体でコンプライアンスの徹底を行っている。 年間の利用日程調整を行い利用団体へ通知し、年間利用計画を策定。 また、HP等で施設予約情報や施設空き情報を掲載。直近のスポーツ大会、イベント情報などについてはポスター等を館内に掲示し情報発信を行う等サービスの提供を行っている。  (評価点：3点)		A		年間利用計画を策定し、各種イベント情報の発信に努めている。 <取組>予約情報をHPで公開。イベント情報を館内及び体育会館入口にて掲示。  (評価点：3点)	A	
		②高齢者、障がい者等に対する配慮  高齢者、障がい者の方が利用しやすいように、車椅子対応勉強会（H30.1予定）の実施や障がい者団体の減免措置など配慮した体制を実施。ホームヘルパーの有資格者を雇用し高齢者、障がい者等の利用に配慮した体制を構築している。  (評価点：3点)				高齢者・障がい者への配慮が図られ、スタッフの教育にも力をいれている。 <取組>救命救急講習会、ホームヘルパーの有資格者の雇用 >  (評価点：3点)		

平成29年度指定管理運営業務評価票

(資料②)

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	① 利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	<p>進学説明会や企業説明会等の説明会用ブース利用者へ打合せ等の際に館内の下見時などに別途利用の営業活動を実施。また、多くの利用者が見込まれるアトレットやアット品の展示即売会やプロレス・ボクシングなどのイベントを開催予定団体に誘致、利用の打診をしている。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>利用団体に対して、次回以降も利用してもらえるよう丁寧な対応を行うことで、次回以降も利用してもらえる確約を数件獲得しており、上半期の利用者数は年々増加している。</p> <p>&lt;効果&gt; (上半期利用者) H27 (321千人)、H28 (342千人)、H29 (367千人)</p> <p>(評価点：3点)</p>	S		
	② 年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕 利用者数 平成28年度実績：813,396人 平成29年度目標：820,000人 9月末現在実績：367,781人	<p>・HP内容を充実。Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。</p> <p>・「浪速区広報誌」22,000部発行。</p> <p>・季刊誌4回/年・332団体へ送付</p> <p>・行事予定表発行12回/年</p> <p>・施設入口と管理事務室前にデジタルサイネージにて当日の利用予定を掲出するとともに、イベント、催し物の情報発信を実施している。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>季刊誌やフリーペーパー掲載に加え、今年度から地区の広報誌を利用して地域の府民に積極的に情報発信を行っている。</p> <p>&lt;取組&gt; 浪速区広報誌22,000部、季刊誌4回、行事予定表発行12回、フリーペーパー掲載、Facebookの活用。</p> <p>(評価点：4点)</p>			
	① 提案のあったサービス向上策の取組み	<p>・開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者ニーズに柔軟に対応している。</p> <p>・29年度 休館日開館予定：6日間 (H28年度3日)</p> <p>・チラシ、HPへのアップ、Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。HPの改修については改修に対する見積もりをとるなどし、前向きに検討しているが、予算の確保に向けて調整している。</p> <p>・個人情報保護及び情報公開研修実施 (H29.4)、人権啓発研修 (H29.9) 等の各種研修を提案どおり実施。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>休館日開催や時間延長など利用者ニーズに即して、柔軟に対応した運営を行っている。</p> <p>&lt;取組&gt; 休館日の開館</p> <p>(評価点：3点)</p>			

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目 施設の効用を最大限発揮するための方策	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	②自主事業の取組み	南海ビルサービスの実施している教室10教室に加えミズノグループの公認指導員によるスポーツ教室を開催している。(8教室)下期についても不定期事業の計画を行い実施予定。 また、昨年度の実績から合計4件の自主事業の見直しおよび改定を行い、新たな集客に取り組んだ。教室イベントも実施しており、著名なインストラクターを呼び、集客と収益の増加に努力している。自主事業の不定期教室(有名卓球選手を呼んでの練習会など)の開催実施している。情報チラシについても近隣のミズノグループショップに置いてもらったり、浪速区広報誌(22,000部)に載せたりし、広告を行っている。  (評価点：3点)	A	前年度実績から、本年度の見通しについては増収を予定している。一部の自主事業においては自主事業の計画を下回る見通しのものもあることから、利用者のニーズを察知し、よりサービス向上が図られることを期待する。  (評価点：3点)	A	
		③施設設備、機能の活用	・施設設備、機能を十分に活用出来るようサービス向上に努めている。 ・スポーツ備品のチェック(日常点検を行い1日1回の目視点検実施) ・館内外巡視点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月1回の目視点検を実施し安全向上に努めている。  (評価点：3点)		施設設備の点検体制を整備し、スタッフ合同パトロールを実施するなど、設備の事故は発生していない。  (評価点：3点)		
	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	・設備点検年間予定表を作成し、維持管理を行なっている。 ・合同点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月一回の合同巡視点検(館内外) ・日常点検：設備により、スポーツ用具等1日1回の目視点検 ・ライフサイクルコストの低減を図っている。(年間修繕計画等) ・街灯のLED化の変更を実施し地域の治安抑制や歩行者等の利便に寄与している。  (評価点：3点)	A	設備点検年間計画により実施状況を府へ報告あり。また、基本修繕費の計画的な実施状況も報告があり、適正な維持管理に努めている。  (評価点：3点)	A	
		②施設設備の安全管理	利用者の安全を図るためスポーツ用具等の日常点検を実施。  (評価点：3点)		昨年度に引き続き点検記録簿を作成し、日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図っている。  (評価点：3点)		
		③緊急時の危機管理体制	危機管理マニュアルを作成し、緊急時にも対応出来るようにしている。 又、大阪府警とも連携を図りテロ対策パートナーシップ協議会に参加しテロ対策を推進している。 大阪市消防局・浪速消防署や各関係者とも連携を図り、緊急時に対応できるように消防訓練を実施している。(年2回実施、初回H29.9実施)。  (評価点：3点)		・危機管理マニュアルが整備されている。 ・館内に防災マップの掲示を行い、利用者に周知を図っている。 ・地域の関係機関と連携し、テロ対策や防災に対する意識が高い。  (評価点：3点)		

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
(6) 収入確保策の実施	① 広告収入等の収入確保策の取組み	<p>行事予定表への広告掲載による収入確保を図っている（行事予定表広告掲載収入は1社54千円）。 デジタルサイネージ、バナー広告について広告主を開拓中。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>広告収入や空きスペース（フリッツホール、ピロティ等）の有効活用により、収入確保策の取組を行っている</p> <p>(評価点：3点)</p>	A		
	② 提案どおり実施されているか。	<p>提案どおり収入確保を行っている。 府への納付金142,900千円が見込まれる。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>収支計画どおりの納付見込みとなっている。 ＜効果1＞（収入）プロポ提案 376,927千円 H29見込み 386,420千円 ＜効果2＞（収入）上半期の実績 H27 (1.64億円)、 H28 (1.55億円)、 H29 (1.77億円)</p> <p>(評価点：3点)</p>			
その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	① 府、公益事業協力等の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興や人権啓発及び人権相談の推進等の府施策を遵守。</li> <li>・ミズノ株式会社においては、大阪マラソンのオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力している。</li> <li>・人権啓発研修の受講 (H29.9)</li> </ul> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>府や公益事業への協力の取組が図られている。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	
		② 行政の福祉化の取組み	<p>知的障がい者の雇用（清掃員6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法定雇用率（平成29年6月現在）</li> <li>南海電鉄 2.25%</li> <li>ミズノ 2.21%</li> <li>ミズノスポーツサービス 2.74%</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C-STEP加入済み (H18～)</li> </ul> <p>(評価点：3点)</p>		<p>行政の福祉化は提案どおり実施されている。 当初提案に基づく雇用人数（6名）を継続的に雇用。</p> <p>(評価点：3点)</p>		
		③ 市民・NPOとの協働の取組み	<p>南海電鉄が推進する文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」のスポーツ振興事業と協働し、沿線中学校で男子バレーボール部を直接指導する「堺プレイヤーズコーチングキャラバン by NANKAI」を体育会館にて開催 (H29.8)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海ビルサービスとして、南海電鉄と協働し、南海沿線の中学校3校に堺プレイヤーズの選手を3～4人平日のクラブ活動時間に派遣し、それぞれ5回ずつ指導。</li> </ul> <p>(評価点：3点)</p>		<p>グループ全体で府民等協働意識、取組がなされている。</p> <p>(評価点：3点)</p>		
		④ 環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESCO事業の推進。</li> <li>・環境へ配慮したグリーン電力を使用し、CO2削減に取り組んでいる。</li> </ul> <p>親会社が府と「グリーンパートナー協定」を締結し「エコモーションなんかい」と銘打って、グループ企業全体で取組み実施。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>府のESCO事業推進や電力量の見直し、夏場の節電対策にも積極的に節電に協力し、実施している。</p> <p>(評価点：3点)</p>		
I 総括		7項目（28点満点）		A	7項目（28点満点）	A	

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況  施設利用時は主催者との打ち合わせを綿密に行い満足していただけよう配慮している。利用中も度々主催者との連携し意思疎通を図り迅速に対応している。HPにはお問い合わせページを作成しているが、H29.9時点で苦情は0件である。 11月の自主事業開催時にアンケート調査を実施し予定。また、利用者満足度調査等のアンケートについても10月以降利用団体に随時協力していただき、実施している。  (評価点：3点)	A	大阪府が実施する利用者満足度調査への協力を行い実施。問い合わせWebにより、広く利用者のニーズ把握に努めている。 自主事業開催時にもアンケート調査を実施することで、利用者満足度の向上に努めている。  (評価点：3点)	A		
		②調査結果のフィードバック（PDCA）  施設利用時間帯等について、休館日の開館や利用時間の延長など、利用者のニーズを聞き取りながら柔軟に対応している。また、マナー・電話対応研修(29.7)を実施しサービス向上に努めている。 アンケート結果については集計の上、職員で情報共有をしている。  (評価点：3点)	A	問合せWebや教室利用者のアンケート結果をもとに、迅速な対応が図られている。 また、自主教室開催時のアンケート結果を担当者間で情報共有している。  (評価点：3点)	A		
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み  ・ミズノグループと協力し既存の各教室の充実を図った。（各教室の講師と綿密な打合せ等） ・夏休み！こども教室のイベントや秋ヨガイベント等、ミズノと協働し実施し、スポーツ教室を体験していただくとともにミズノからは足形測定等ミズノならではの取り組みを行った。 ・催物開催時にはNBS、ミズノの社内電子掲示板を活用、また受講者へは開催時にミズノグッズをお土産に提供した。 ・利用団体に協力をお願いし、イベント開催時にミズノ商品の割引販売を企画するなど今までにない取り組みにより、サービス向上を図っている。 ・教室受講生拡大のため夏休みこども教室（1回1,000円）を開催子供向け教室のPRを行った。8/3.8/4.8/7.9/9.9/10 5日間開催。（期間中23名程度の新規受講があった。内4件新規入会した）  (評価点：3点)	A	指定管理者の構成企業と連携し、新規の取組みによって、自主事業教室新規受講者を獲得している。 また、積極的な情報発信により、多くの利用者に周知できるよう努めている。  (評価点：3点)	A		
(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み  ・個人情報保護マネジメントシステム自覚教育資料を使用し、テスト方式による研修を実施。 ・大版プリンターを利用しB1、B2大のポスターを印刷し自主事業、お知らせ等の告知に活用。 ・危険予知（KY）により、館内外に潜む危険箇所の抽出を行い注意喚起の掲示等を行った。 ・デジタルサイネージの活用により、利用状況の掲示だけではなく、様々な情報を発信している。  (評価点：3点)	A	大型プリンターを利用することにより、自主事業のお知らせ等に活用している。また、デジタルサイネージでは利用状況を掲示するだけではなく、スポーツ用品の広告等、利用者に有益な情報を発信している。  (評価点：3点)	A			
II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A		

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び表現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 【指標】H29収支計算書（プロポーザル） 収入：376,927千円、見込み：386,420千円 支出：234,027千円、見込み：239,820千円 納付金：142,900千円、見込み：146,600千円  事業収支及び見込み 《平成29年度：対プロポーザル比》 収入：102% 支出：102% 納付金：102%  （評価点：4点）	S	H29年度の収入についてはプロポーザルを上回る見込みであり、納付金についても増額の見込みであることから今後に期待する。  （評価点：3点）	A	第三四半期の数値を参考にす等、評価基準を検討すること。	
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置  ②管理監督体制・責任体制  ③指導育成、研修体制	① 提案時の職員体制 非常勤社員2名、正社員7名、嘱託社員5名 パート社員7名、臨時職員2名、合計23名 (H29.9月現在) 非常勤社員2名、正社員9名、嘱託社員2名、 パート社員10名、臨時職員1名、合計24名  （評価点：4点）  ・支配人を体育会館に常駐させ、経理部門、事業部門、維持管理部門全体を把握させ各部門の業務の調整を行なっている。 ・毎日1回スタッフミーティングを実施。お客様からの要望、施設の維持、イベント等について、情報の共有を行っている。  （評価点：4点）  個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、OJT（随時）など職員の育成、スキルアップに努めている。  （評価点：3点）	S	「管理体制計画書」の職員体制に加え、現場の状況に応じて柔軟にパート社員を増員することで、安定な管理運営体制をとっている。  （評価点：4点）  ・本社部門との連携体制を構築し、職員間で日々の情報共有を図っており、意思疎通ができています。 ・業務マニュアルや異常事態要綱、本社事故等防止委員会規程等により、責任体制を明確にしている。  （評価点：3点）  職員スタッフ研修を計画的に開催しており、職員育成に努めている。  （評価点：3点）	A	

平成29年度指定管理運営業務評価票

(資料②)

施設名称：大阪府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤	事業者の運営基盤 ○南海ビルサービス株式会社 ・ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務 ・駅、鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務・建築物における各種設備の改造、修繕、取替工事の設計、施工および工事請負・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理 ・テレビジョン電波受信障害対策施設の設計、施工および維持管理業務 ・不動産の管理、賃貸借、売買および仲介 ・ビル・マンション等の管理 ・都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工、緑の維持・管理、緑のリース、フラワーショップの運営 ・高齢者専門宅配弁当事業  (評価点：4点)	S	運営基盤は安定している。  (評価点：3点)	A		
	②法人等事業者の財務状況	平成28年度財務状況 代表企業：南海ビルサービス株式会社 自己資本合計 6,298,537千円 資産合計 12,262,298千円 流動資産合計 86,693,555千円 流動負債合計 5,718,218千円 固定資産合計 3,568,743千円 経常利益 65,700,000千円 自己資本比率 47.2 % 流動比率 142.3 % 固定比率 58.1 %  (評価点：3点)		健全な財務状況である。  (評価点：3点)			
Ⅲ 総括		3項目 (12点満点)	A	3項目 (12点満点)	A		